第2回　学校運営協議会　議事録

校名	府立　岬高等　学校
校長名	岸野　敏昌

開催日時	令和6年10月9日（水）
開催場所	大阪府立岬高等学校　校長室
出席者(委員)	保井太郎 会長、 島﨑英夫 副会長、 保田智子 委員、 尾保手崇 委員、
	田中茂樹 委員、
出席者(学校)	岸野敏昌 校長、 津田等 事務長 、栩原正明 教頭、 長井一也 教頭
	首席2名、教務主任
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度使用教科書（選定・採択）一覧表
備考	

議題等(次第順)

1．はじめに
　①校長挨拶

2．報告事項
　①第1回授業アンケート結果

3．協議事項
　①令和7年度　使用教科書の選定

4．授業見学
　①授業見学
　②意見交換

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1．はじめに
　①校長挨拶
　今年度からステップスクールになり、自分自身も赴任して半年が経った。ステップスクールのミッションである地域連携に関して、保井様にコーディネートしていただき、様々な授業や活動を行っている。大阪公立大学の留学生と交流したり、先週末には自己探究の授業で洲本ライナーを使い淡路島に渡り、レンタサイクルで成ヶ島や洲本城へ行き、環境省の方に自然環境や歴史についてお話を聞かせていただいた。この半年間、この2つだけでなく様々な取組から、生徒達の楽しそうな達成感のある充実した表情を見ることができた。今週末には山海人プロジェクトがあり、1年生は愛宕山（淡輪）でのつつじの植樹、2・3年生はクラス毎に町の探索や清掃活動を行う予定。10月25日に行われる文化祭の様子も楽しみにしている。
　第1回の学校運営協議会において、中退防止のための取組について提言いただいた中で、「授業」と「行事」というお話があったが、両方で少しずつではあるが生徒の評価は上がってきていると感じている。
　ピリカ部が7月に行われた「スポGOMI甲子園」の大阪大会で優勝し、12月に行われる全国大会に出場する。先日、岬町長を表敬訪問させていただいた。役場には垂れ幕を飾り岬町全体で応援してくださっているので、全国大会でも頑張って欲しい。
　この後の授業見学では、初任者の授業や1年生の授業を見ていただく予定。学校全体の様子も見ていただき、忌憚のないご意見をいただきたい。

　②会長挨拶
　最近はAIの時代になり、チャットGPTに「岬高校」について聞くと”岬高校の取組は、地域との連携を強化して地域の特色を活かした教育をしている。環境学習などの地域資源を活かした活動を展開している”という回答があった。

2．報告事項
　①第1回授業アンケート結果
・資料1は、年間2回の生徒に行っているアンケートの過去10回分の結果となっている。今回の結果は、質問2～9について、過去10回の中で一番高い数値となっている。（前年に比べ0.1ポイント程度上がっている。）4月当初から、職員会議でも授業を大切にしていこうと言ってきたので、とても嬉しく思っている。この数値が出る前に全員の授業見学をしたが、皆色々な工夫をしていた。50分の授業時間、集中が続かない生徒もいるが、一方的な授業ではくプロジェクターを使用し視覚的に見やすくしたり、生徒と上手くコミュニケーションを取りながら授業を進めており、生徒から意見を引き出すような授業を行っていた。何より、生徒が頑張って授業を受けているという印象を受けた。この結果を見た時に、嬉しいと思ったのと同時に「そうだよね」と感じた。今年度は授業見学を2回実施する予定。教員がお互いに授業見学をしている様子も見られたが、もっと見て欲しいという気持ちもあるので、先生方に働きかけていこうと考えている。
・6月に行われた体育祭もとても良い雰囲気だった。生徒だけでなく、教員も楽しそうに一緒に参加しているのが印象的だった。事後のアンケートでも、とても楽しかったが約30％、楽しかった48％、合わせて78％が肯定的な評価をしている。（楽しくなかった3，4％、全く楽しくなかった0．1％、欠席した8．5％）出席状況も良かった。肯定的評価について、昨年度は38％で倍近くに増えている。見ていて楽しそうだと感じたものが、そのまま数値に表れてる。これが継続していけば、生徒の気持ちがより学校に向いてくれるのではないかと感じている。

（質疑応答）　無し

3．協議事項
　①令和7年度　使用教科書の選定
・資料2は、6月に各教科で厳正に選定した「令和7年度 使用教科書（選定・採択）一覧表」。 保健体育については、1年生で選定された物を2・3年生でも継続使用する予定。⇒承認

4．授業見学後、意見交換
・自分たちの時代とは雰囲気が違うと感じた。生徒が自由に発言していた。⇒生徒から意見を引き出すよう意識して授業している教員が多い。
・授業中に寝ていた生徒がいたが、体調が悪かったのか？目までマスクをかけていた。⇒普段はきちんと授業を受けている大人しい生徒。恥ずかしかったのか、体調不良か・・・
・2，3年前に見学した時とはガラッと変わっていると感じた。生徒を良く見ているし、興味をかき立てる接し方をしていると感じた。ICTを活用した授業で、先生の話を聞く、黒板を見る、PCを触る、の切り替えがしやすいと感じた。生徒に応じた授業をされていると感じた。
・休み時間から見学していたが、生徒がトゲトゲしていなくて、しっとりしているように感じた。休み時間は生徒が発散する時間だが、先生や大人が廊下を歩いていても、「誰来たねん！」という雰囲気にはなっていなかった。普段からいろんな人と関わることが多くなってきているからなのかなぁという印象。生徒から声をかけてくれるし、こちらから声をかけてもたぶん素直に受けてくれそう。学校全体が、この人達と居ても安心できるという空気感があった。若い先生が多いが、子ども達と対話しようと努力しているのが伝わってきた。若い先生方は、まだまだこれから苦労すると思うが、1つクリアすれば子どもたちはどんどん興味をもってくれるようになるのではないか。
・1クラスの人数が少なくて良いと思った。今年の1月にも授業を見学し、その時と大きくは変わっていないが、子ども達の表情が少し柔らかくなったように感じた。
・学校としては、もっと生徒数が増えて欲しいが、授業は少人数が良い。生徒が増えて、教員の数が増えて、少人数でずっと授業ができるのが理想。
・教員の平均年齢は約35歳。昔からそうだが、岬高校は若い教員を育てるというのも使命の一つだと思う。

次回の会議日程	
日時	令和7年1月31日
会場	大阪府立岬高等学校